

## 143 祈りについての教え

ルカによる福音書 18 : 1~14

▶「やもめと裁判官」のたとえ（ルカによる福音書 18 : 1~8）→祈りを聞いてくださる神

01 イエスは、気を落とさずに絶えず祈らなければならないことを教えるために、弟子たちにたとえを話された。

02 「ある町に、神を畏れず人を人とも思わない裁判官がいた。

03 ところが、その町に一人のやもめがいて、（たびたびこの）裁判官のところに来ては、『（どうか、不当な）相手を（正当な裁きで）裁いて、（正義をもって）わたしを守ってください』と言っていた。

→（リビング・バイブル）同じ町に住む一人の未亡人が、たびたびこの裁判官のところへ押しかけ、『訴えられて困っています。どうか私を守ってください』と願い出ました。

→（回復訳）その町に一人のやもめがいて、いつも彼の所に来ては、『わたしの相手に復讐して（→or 正義をもたらし）て）ください』と言っていた。

→当時のユダヤの習慣では、夫を亡くし、子供がいない女性を援護し、面倒を見る者はいなかった。

やもめは抑圧された階層の代表的な人で、社会の底辺に居て収入の道が閉ざされ、生きていくことが非常に大変だった。

04 裁判官は、（賄賂も払えないようなやもめの訴えを）しばらくの間は取り合おうとしなかった。

しかし、その後考えた。『自分は神など畏れないし、人を人とも思わない。05 しかし、あのやもめは、うるさくてかなわないから、彼女のために裁判をしてやろう。さもないと、ひっきりなしにやって来て、わたしをさんざんな目に遭わす（→うんざりさせる）にちがいない。』

→やもめ：①未亡人：寡、寡婦、孀、②男やもめ：やもお（鰥夫、寡男）

06 それから、主は言われた。「この不正な裁判官の言いぐさ（→言い訳、口実）を聞きなさい。

07 まして神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでもほうっておかれることがあろうか。

→（リビング・バイブル）主は続けて言われました。「このように、悪徳裁判官でさえ音を上げてしまうのなら、まして神は、昼も夜もひたすら訴え続ける信者たちを、必ず正しく取り扱ってくださるはずです。そうは思いませんか。

→不正な悪徳裁判官でも、やもめの執拗な願いに応じている、ましてや天の父は、信じる者たちの祈りを聞いてくださる。

08 言っておくが、神は速やかに裁いてくださる。しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。』

→（リビング・バイブル）神はすぐにも答えてくださるのです。ただ問題は、メシヤのわたしが帰って来る時、いったいどれだけの人が信仰を持って祈り続けているかです。

▶「ファリサイ派の人と徴税人」のたとえ（ルカによる福音書 18 : 9~14）→恵みを与えてくださる神

09 自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々に対しても、イエスは次のたとえを話された。

10 「二人の人が祈るために神殿に上った。一人はファリサイ派の人で、もう一人は徴税人だった。

→人々は、通常、祈るために早朝と午後 3 時頃に神殿に通った。

11 ファリサイ派の人は立って、心の中でこのように祈った。

『神様、わたしはほかの人たちのように、①奪い取る者、②不正な者、③姦通を犯す者でなく、また、この④徴税人のような者でもないことを感謝します。

12 わたしは⑤週に二度（一月曜と木曜日に一神への熱心な思いを示し、自らの罪を悔いるために）断食し、⑥全収入の十分の一を献げています。』

→ファリサイ派の人たちは外見上は非の打ち所がないが、実は、①～④は道徳的自慢、⑤⑥は宗教的自慢であり、これは祈りではない。このようなファリサイ派の人たちの傲慢な祈り（？）は、神に向かって、誇り高ぶった祈りであり、神はこのような高ぶりを徹底的に憎まれる。

13 ところが、徴税人は遠くに（離れて）立って、（通常の祈りのように）目を天に上げようとせず、（悲しみのあまり）胸を打ちながら言った。『神様、罪人のわたしを憐れんでください（→怒りを静めてください）。』

→（リビング・バイブル）一方、取税人は遠く離れて立ち、目を伏せ、悲しみのあまり胸をたたきながら、『神様。罪人の私をあわれんでください』と叫びました。

→今の私たちは「神様、罪人のわたしを憐れんでください」という祈りをする必要はない。なぜなら、イエス・キリストはご自身を十字架につけ私たちに贖ってくださいました。キリストの贖いの死によって、既に「恵みの座」が用意されているのです。だから、パウロは、確信を持って主の恵の座に大胆に近づこうと勧めるのです（ヘブライ人への手紙4：16）。

→ヘブライ人への手紙4：16

だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。

14 言っておくが、義とされて家に帰ったのは、この（徴税）人であって、あのファリサイ派の人ではない。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる（リビング・バイブル：高慢な者は卑しい者とされ、謙遜な者には大きな名誉が与えられるのです。）」

→ファリサイ派の祈りは、①他の人たちとの比較に基づく祈りであり、②他人の罪はよく目につくが、自分の罪は全く見えない祈りであり、③神に届かない自己満足の祈りである。

これに対して、徴税人の祈りは、①神の基準に基づく祈りであり、②自分の罪に焦点を合わせた心からの祈りであり、③神に届く祈りである。

#### 【一言】知ったかぶり smart ass

##### ▶知ったかぶりの心理や理由

1. 周りから優秀だと思われたい。
2. 無知な自分を見せたくない。
3. 相手より優位な立場に立ちたい。
4. 知らない事で、疎外感を受けたくない。

##### ▶知ったかぶりの特徴

1. 専門用語など、わざわざ難しい言葉を使う。
2. 負けず嫌いで、プライドが高い。
3. 目立ちたがりやで見栄っ張り。
4. 周囲の目を気にする。